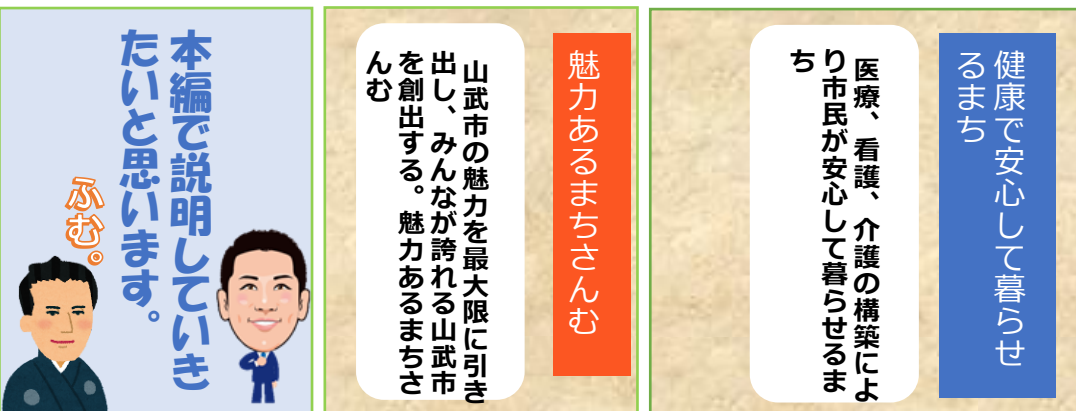
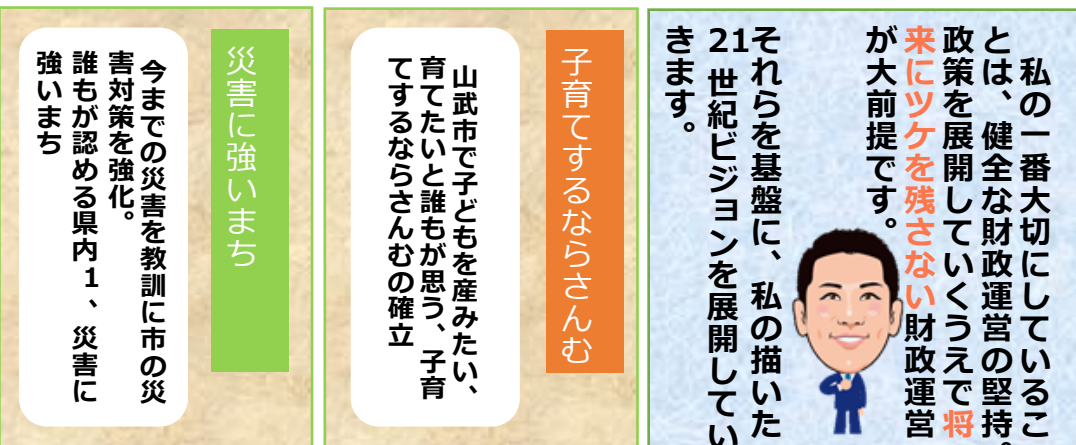


教えて！ かずくんのかずくんの政策ってなあ～に？

みんなで築く
21世紀

次の世代に誇れる
山武市へ



いしかわ かずひさ
石川和久



政策ビジョン① 子育てするならさんむ

山武市で子どもを産みたい、育てたいと誰もが思う、子育てするならさんむの確立



私は議員活動をするうえで、4つの政策ビジョンを掲げています。

その1つ目が、【子育てするならさんむ】

山武市で子どもを産みたい、育てたいと誰もが思う、子育てするならさんむの確立を目指しています。

まず、山武市における子ども・子育て家庭を取り巻く現状について確認しよう。近年の市の総人口は平成27年では54594人でしたが、令和4年4月では49226人と8年間で5368人の減少となっており、減少傾向が続いています。

人口構成では0～14歳の年少人口が大きく減少しており、平成27年では5503人だった人口が令和2年では4234人と約1269人減少しています。市の構成人口割合は表のとおりです。0～14歳の割合が低いことは言うまでもないのですが、65歳以上の割合が増えている事にも注目です。

次に出生数については平成27年度では299人に対し令和3年度では188人です。このように市でも、著しい少子高齢化が進んでいます。近年の多様化した社会では仕事と子育てを両立できる環境整備の強化、子育てに対する負担を軽減する施策の拡充が求められます。

※住民基本台帳より

構成人口割合 (%)	構成人口割合 (%)	
	平成27年	令和4年
0～14歳	10.1	8.6
15～64歳	60.4	54.9
65歳以上	29.6	36.5
出生数	出生数	
	平成27年	令和3年
出生数	299人	188人



子育て世代はどんなことに困っているの！

- ・「教育費の支援、軽減」(69.7%)
- ・「子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置」(49.3%)
- ・「雇用の安定」(45.4%)
- ・「各自のニーズに合わせた保育サービスの充実」
- ・「出産・育児による休職後の職場復帰の保障の充実」



令和2年度少子化社会に関する国際意識調査報告書より
育児を支援する施策として何が重要かについて。

ご意見・ご要望等いつでもご連絡ください！

✉ ishikazu.sammu@gmail.com

☎ 0475-51-4803

石川和久

山武市の主な取り組み



- ・保育料第2子半額（一部） 第3子無償化
- ・公立こども園5カ所整備
- ・公立こども園自園給食
- ・ちびっ子国際交流
- ・相談支援充実
- ・子供医療費・高校生等医療費無料 など

はぴねす
支援センター
総合支援拠点

2023年 国の動き

出産準備金 新生児1人あたり計10万円分のクーポンなどを支給
出産育児一時金 現行の42万円を来年度から47万円に引き上げ



石川和久が推進する取り組み



- ・子育て世代のニーズ調査強化
- ・保育料第2子から無償化または減免の推進
- ・保育士への支援
- ・病児保育の充実
- ・市内すべてのこども園化の推進
- ・通学路の安全対策の強化
- ・小学校、中学校給食費無償化の推進



- ・友人・知人のご紹介・ビラ配り・ボランティア活動・動画撮影
- ・山武市のネタ提供

共に活動していただけるお仲間募集中！

発行元：石川和久後援会 山武市上横地1020-3 頒布責任者 加藤芳規